

科目名	アドバンスレッスン1							年度	2025
英語科目名	Advanced lesson 1							学期	前期
学科・学年	ミュージックアーティスト科プレイヤー コース(ギター) 2年次	必/選	必	時間数	240	単位数	8	種別※	実習
担当教員	宍倉 聖悟/鳥居 隼/篠崎 保 /渡辺 具義/鈴木 一義		教員の 実務経験	有	実務経験の 職種	ミュージシャン			

【科目の目的】

演奏テクニック、スコアリーディング、アンサンブル能力を向上させるための実践的なアプローチの習得を目的とします。アンサンブルの授業ではジャンルの違う課題曲ごとにアプローチ方法を学び、バンドセッションではメンバーを交代しながら、常にバンド全体の音を意識して演奏することで、周りとの適切な音量のバランスやその曲に合った音色、バックギン等を学びます。インプロビゼーションでは、それぞれが自由なアドリブを演奏できるためのスキルを習得します。

【科目の概要】

この授業は、各楽器の実践的なスキルを総合的に習得するための授業です。一週間の時間割はテーマごとに細分化されており、「専攻実技」「イヤートレーニング」「リーディング」「ボーカルアンサンブル」「インプロビゼーション」「インプロビゼーションアンサンブル」「マスターインストラクター」「DTM」の8つに分かれます。下記に記載されている授業テーマは、前期後期に共通する内容であり、別紙「アドバンスレッスン2」も同様である。また、学生一人一人の演奏レベルや個性は十人十色であるため、それぞれに適したペースで指導を行うことに重点を置いている。

【到達目標】

- A. 楽器の応用スキルを習得できる
- B. イヤートレーニング(4和音、テンション)を習得できる
- C. リーディング(応用)を習得できる
- D. インプロ発表会でベストパフォーマンスができる
- E. アンサンブル発表会でベストパフォーマンスができる

【授業の注意点】

専門学校は出席率100%が基本であるため、理由のない遅刻や欠席は認めない。
 教員の指示がない限り、授業と関係のない携帯電話・スマートフォンの使用を認めない。
 授業時限数の4分の3以上出席しない者は定期試験・評価課題を受験することができない。
 課題曲に対する下準備。楽器、譜面は忘れずに必ず持ってくること。

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック 評価	レベル5	レベル4	レベル3	レベル2	レベル1
	優れている	よい	ふつう	あと少し	要努力
到達目標 A	楽器の応用スキルを習得でき、ミスのない演奏ができる		楽器の応用スキルを習得できる		楽器の応用スキルを習得できない
到達目標 B	イヤートレーニング(4和音、テンション)を習得でき、ミスなく採譜できる		イヤートレーニング(4和音、テンション)を習得できる		イヤートレーニング(4和音、テンション)を習得できない
到達目標 C	リーディング(応用)を習得でき、ミスなく進行できる		リーディング(応用)を習得できる		リーディング(応用)を習得できない
到達目標 D	インプロ発表会でベストパフォーマンスができ、次の目標が設定できる		インプロ発表会でベストパフォーマンスができる		インプロ発表会でベストパフォーマンスができない

到達目標 E	アンサンブル発表会でベストパフォーマンスができ、次の目標が設定できる		アンサンブル発表会でベストパフォーマンスができる		アンサンブル発表会でベストパフォーマンスができない
-----------	------------------------------------	--	--------------------------	--	---------------------------

【教科書】

【参考資料】
 毎回授業にて資料配布を行う
 参考書・参考資料等は授業中に指示をする

【成績の評価方法・評価基準】
 試験・課題 70% 課題毎に提出。検定試験の受験・点数により評価
 成果発表 20% 授業内に行われるロールプレイング・グループワークにより評価
 平常点 10% 積極的な姿勢

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名		アドバンスレッスン1			年度	2025	
英語表記		Advanced lesson 1			学期	前期	
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標=修得するスキル	評価方法	自己評価	
1	レベルチェック	レベルチェックパフォーマンス	1	自由曲演奏	自由曲を演奏し、ベストパフォーマンスできる		
			2	批評	他の学生の演奏を聴いて批評できる		
			3	講師からの講評	講師から指摘されたことを改善できる		
2	専攻実技①	様々な演奏技法を習得する①	1	チョーキング	チョーキング奏法を習得できる		
			2	スライド	スライド奏法を習得できる		
			3	ハンマリング、プリングオフ	ハンマリング、プリングオフ奏法を習得できる		
3	専攻実技②	様々な演奏技法を習得する②	1	トリル	トリル奏法を習得できる		
			2	ゴーストノート	ゴーストノート奏法を習得できる		
			3	ミュート奏法	ミュート奏法を習得できる		
4	専攻実技③	様々な演奏技法を習得する③	1	ハーモニックス	ハーモニックス奏法を習得できる		
			2	ライトハンド	ライトハンド奏法を習得できる		
			3	スweep奏法	スweep奏法を習得できる		
5	イヤートレーニング①	4和音を聞き取れる	1	メジャー系	メジャー系の4和音を聞き分けられる		
			2	マイナー系	マイナー系の4和音を聞き分けられる		
			3	ライティング	音を聞き五線譜にライティングできる		
6	イヤートレーニング②	II-V-Iを聞き取れる	1	メジャー系	メジャー系のII-V-Iを聞き分けられる		
			2	マイナー系	マイナー系のII-V-Iを聞き分けられる		
			3	ライティング	音を聞き五線譜にライティングできる		
7	イヤートレーニング③	テンションを聞き取れる	1	ナチュラルテンション	9th, 11th, 13thを聞き分けられる		
			2	オルタードテンション	b 9th, #9th, #11th, b 13thを聞き分けられる		
			3	ライティング	音を聞き五線譜にライティングできる		
8	リーディング(応用)①	譜面から情報を読み取れる	1	反復記号	反復記号について理解できる		
			2	略記号	略記号について理解できる		

			3	アーティキュレーション	アーティキュレーションについて理解できる		
9	リーディング(応用)②	譜面を作成する	1	進行の下書き	進行の下書きができる		
			2	耳コピによる採譜	耳コピによる採譜ができる		
			3	添削とアドバイス	より分かり易い譜面を作成できる		
10	リーディング(応用)③	読譜力を上げる	1	情報の速読	調や進行など情報の速読ができる		
			2	音符の速読	音符の速読ができる		
			3	初見演奏	初見演奏ができる		
11	ボーカルアンサンブル①	課題曲に取り組む	1	課題曲	課題曲を聴き、イメージができる		
			2	スコアリーディング	スコアリーディングで進行を理解できる		
			3	基本パターン	課題曲の基本パターンを習得できる		
12	ボーカルアンサンブル②	バンドセッションに取り組む	1	デモ演奏	講師のデモ演奏を聴き、演奏のイメージができる		
			2	バンドセッション	バンドのみの時の演奏を意識できる		
			3	講師指導	講師から指摘されたことを改善できる		
13	ボーカルアンサンブル③	ボーカルinセッションに取り組む	1	デモ演奏	講師のデモ演奏を聴き、演奏のイメージができる		
			2	ボーカルセッション	ボーカルが入った時の演奏を意識できる		
			3	講師指導	講師から指摘されたことを改善できる		
14	インプロ発表会	ステージパフォーマンス	1	リハーサル	スムーズにリハーサルを進行できる		
			2	本番	本番でベストのパフォーマンスができる		
			3	講師からの講評	本番を振り返り、自分の課題を発見できる		
15	アンサンブル発表会	ステージパフォーマンス	1	リハーサル	スムーズにリハーサルを進行できる		
			2	本番	本番でベストのパフォーマンスができる		
			3	講師からの講評	本番を振り返り、自分の課題を発見できる		
評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他							
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった							
備考 等							

科目名	アドバンスレッスン1							年度	2025
英語科目名	Advanced lesson 1							学期	前期
学科・学年	ミュージックアーティスト科 プレイヤーコース(ベース) 2年次	必/選	必	時間数	240	単位数	8	種別※	実習
担当教員	上野 一郎/橋本 佳紀/鈴木 一義/渡辺 具義			教員の実務経験	有	実務経験の職種	ミュージシャン		

【科目の目的】

演奏テクニック、スコアリーディング、アンサンブル能力を向上させるための実践的なアプローチの習得を目的とします。アンサンブルの授業ではジャンルの違う課題曲ごとにアプローチ方法を学び、バンドセッションではメンバーを交代しながら、常にバンド全体の音を意識して演奏することで、周りとの適切な音量のバランスやその曲に合った音色、バックギン等を学びます。インプロビゼーションでは、それぞれが自由なアドリブを演奏できるためのスキルを習得します。

【科目の概要】

この授業は、各楽器の実践的なスキルを総合的に習得するための授業です。一週間の時間割はテーマごとに細分化されており、「専攻実技」「イヤートレーニング」「リーディング」「ボーカルアンサンブル」「インプロビゼーション」「インプロビゼーションアンサンブル」「マスターインストラクター」「DTM」の8つに分かれます。下記に記載されている授業テーマは、前期後期に共通する内容であり、別紙「アドバンスレッスン2」も同様である。また、学生一人一人の演奏レベルや個性は十人十色であるため、それぞれに適したペースで指導を行うことに重点を置いている。

【到達目標】

- A. 楽器の応用スキルを習得できる
- B. イヤートレーニング(4和音、テンション)を習得できる
- C. リーディング(応用)を習得できる
- D. インプロ発表会でベストパフォーマンスができる
- E. アンサンブル発表会でベストパフォーマンスができる

【授業の注意点】

専門学校は出席率100%が基本であるため、理由のない遅刻や欠席は認めない。
 教員の指示がない限り、授業と関係のない携帯電話・スマートフォンの使用を認めない。
 授業時限数の4分の3以上出席しない者は定期試験・評価課題を受験することができない。
 課題曲に対する下準備。楽器、譜面は忘れずに必ず持ってくること。

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック 評価	レベル5	レベル4	レベル3	レベル2	レベル1
	優れている	よい	ふつう	あと少し	要努力
到達目標 A	楽器の応用スキルを習得でき、ミスのない演奏ができる		楽器の応用スキルを習得できる		楽器の応用スキルを習得できない
到達目標 B	イヤートレーニング(4和音、テンション)を習得でき、ミスなく採譜できる		イヤートレーニング(4和音、テンション)を習得できる		イヤートレーニング(4和音、テンション)を習得できない
到達目標 C	リーディング(応用)を習得でき、ミスなく進行できる		リーディング(応用)を習得できる		リーディング(応用)を習得できない
到達目標 D	インプロ発表会でベストパフォーマンスができ、次の目標が設定できる		インプロ発表会でベストパフォーマンスができる		インプロ発表会でベストパフォーマンスができない

到達目標 E	アンサンブル発表会でベストパフォーマンスができ、次の目標が設定できる		アンサンブル発表会でベストパフォーマンスができる		アンサンブル発表会でベストパフォーマンスができない
-----------	------------------------------------	--	--------------------------	--	---------------------------

【教科書】

【参考資料】
 毎回授業にて資料配布を行う
 参考書・参考資料等は授業中に指示をする

【成績の評価方法・評価基準】
 試験・課題 70% 課題毎に提出。検定試験の受験・点数により評価
 成果発表 20% 授業内に行われるロールプレイング・グループワークにより評価
 平常点 10% 積極的な姿勢

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名		アドバンスレッスン1			年度	2025	
英語表記		Advanced lesson 1			学期	前期	
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標=修得するスキル	評価方法	自己評価	
1	レベルチェック	レベルチェックパフォーマンス	1	自由曲演奏	自由曲を演奏し、ベストパフォーマンスできる		
			2	批評	他の学生の演奏を聴いて批評できる		
			3	講師からの講評	講師から指摘されたことを改善できる		
2	専攻実技①	様々な演奏技法を習得する①	1	グリスアップ、ダウン	グリスアップ、ダウン奏法を習得できる		
			2	スライド	スライド奏法を習得できる		
			3	ハンマリング、プリングオフ	ハンマリング、プリングオフ奏法を習得できる		
3	専攻実技②	様々な演奏技法を習得する②	1	サムピング	サムピング奏法を習得できる		
			2	プル	プル奏法を習得できる		
			3	ゴーストノート	ゴーストノート奏法を習得できる		
4	専攻実技③	様々な演奏技法を習得する③	1	ダブルストップ	ダブルストップ奏法を習得できる		
			2	ミュート奏法	ミュート奏法を習得できる		
			3	ハーモニックス	ハーモニックス奏法を習得できる		
5	イヤートレーニング①	4和音を聞き取れる	1	メジャー系	メジャー系の4和音を聞き分けられる		
			2	マイナー系	マイナー系の4和音を聞き分けられる		
			3	ライティング	音を聞き五線譜にライティングできる		
6	イヤートレーニング②	II-V-Iを聞き取れる	1	メジャー系	メジャー系のII-V-Iを聞き分けられる		
			2	マイナー系	マイナー系のII-V-Iを聞き分けられる		
			3	ライティング	音を聞き五線譜にライティングできる		
7	イヤートレーニング③	テンションを聞き取れる	1	ナチュラルテンション	9th, 11th, 13thを聞き分けられる		
			2	オルタードテンション	b 9th, #9th, #11th, b 13thを聞き分けられる		
			3	ライティング	音を聞き五線譜にライティングできる		
8	リーディング(5.田)①	譜面から情報を読み取れる	1	反復記号	反復記号について理解できる		
			2	略記号	略記号について理解できる		

			3	アーティキュレーション	アーティキュレーションについて理解できる		
9	リーディング (応用)②	譜面を作成する	1	進行の下書き	進行の下書きができる		
			2	耳コピによる採譜	耳コピによる採譜ができる		
			3	添削とアドバイス	より分かり易い譜面を作成できる		
10	リーディング (応用)③	読譜力を上げる	1	情報の速読	調や進行など情報の速読ができる		
			2	音符の速読	音符の速読ができる		
			3	初見演奏	初見演奏ができる		
11	ボーカルアンサンブル①	課題曲に取り組む	1	課題曲	課題曲を聴き、イメージができる		
			2	スコアリーディング	スコアリーディングで進行を理解できる		
			3	基本パターン	課題曲の基本パターンを習得できる		
12	ボーカルアンサンブル②	バンドセッションに取り組む	1	デモ演奏	講師のデモ演奏を聴き、演奏のイメージができる		
			2	バンドセッション	バンドのみの時の演奏を意識できる		
			3	講師指導	講師から指摘されたことを改善できる		
13	ボーカルアンサンブル③	ボーカルinセッションに取り組む	1	デモ演奏	講師のデモ演奏を聴き、演奏のイメージができる		
			2	ボーカルセッション	ボーカルが入った時の演奏を意識できる		
			3	講師指導	講師から指摘されたことを改善できる		
14	インプロ発表会	ステージパフォーマンス	1	リハーサル	スムーズにリハーサルを進行できる		
			2	本番	本番でベストのパフォーマンスができる		
			3	講師からの講評	本番を振り返り、自分の課題を発見できる		
15	アンサンブル発表会	ステージパフォーマンス	1	リハーサル	スムーズにリハーサルを進行できる		
			2	本番	本番でベストのパフォーマンスができる		
			3	講師からの講評	本番を振り返り、自分の課題を発見できる		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等

科目名	アドバンスレッスン1							年度	2025
英語科目名	Advanced lesson 1							学期	前期
学科・学年	ミュージックアーティスト科プレイヤーコース(ドラム) 2年次	必/選	必	時間数	240	単位数	8	種別※	実習
担当教員	麻生 祥一郎/崎村 純弥/堀越 彰/山口 岳/藤本 健一/鈴木 一義/渡辺 具義			教員の実務経験	有	実務経験の職種	ミュージシャン		

【科目の目的】

演奏テクニック、スコアリーディング、アンサンブル能力を向上させるための実践的なアプローチの習得を目的とします。アンサンブルの授業ではジャンルの違う課題曲ごとにアプローチ方法を学び、バンドセッションではメンバーを交代しながら、常にバンド全体の音を意識して演奏することで、周りとの適切な音量のバランスやその曲に合った音色、バックアップ等を学びます。インプロビゼーションでは、それぞれが自由なアドリブを演奏できるためのスキルを習得します。

【科目の概要】

この授業は、各楽器の実践的なスキルを総合的に習得するための授業です。一週間の時間割はテーマごとに細分化されており、「専攻実技」「イヤートレーニング」「リーディング」「ボーカルアンサンブル」「インプロビゼーション」「インプロビゼーションアンサンブル」「マスターインストラクター」「DTM」の8つに分かれます。下記に記載されている授業テーマは、前期後期に共通する内容であり、別紙「アドバンスレッスン2」も同様である。また、学生一人一人の演奏レベルや個性は十人十色であるため、それぞれに適したペースで指導を行うことに重点を置いている。

【到達目標】

- A. 楽器の応用スキルを習得できる
- B. イヤートレーニング(4和音、テンション)を習得できる
- C. リーディング(応用)を習得できる
- D. インプロ発表会でベストパフォーマンスができる
- E. アンサンブル発表会でベストパフォーマンスができる

【授業の注意点】

専門学校は出席率100%が基本であるため、理由のない遅刻や欠席は認めない。
 教員の指示がない限り、授業と関係のない携帯電話・スマートフォンの使用を認めない。
 授業時限数の4分の3以上出席しない者は定期試験・評価課題を受験することができない。
 課題曲に対する下準備。楽器、譜面は忘れずに必ず持ってくること。

評価基準＝ループリック

ループリック 評価	レベル5	レベル4	レベル3	レベル2	レベル1
	優れている	よい	ふつう	あと少し	要努力
到達目標 A	楽器の応用スキルを習得でき、ミスのない演奏ができる		楽器の応用スキルを習得できる		楽器の応用スキルを習得できない
到達目標 B	イヤートレーニング(4和音、テンション)を習得でき、ミスなく採譜できる		イヤートレーニング(4和音、テンション)を習得できる		イヤートレーニング(4和音、テンション)を習得できない
到達目標 C	リーディング(応用)を習得でき、ミスなく進行できる		リーディング(応用)を習得できる		リーディング(応用)を習得できない
到達目標 D	インプロ発表会でベストパフォーマンスができ、次の目標が設定できる		インプロ発表会でベストパフォーマンスができる		インプロ発表会でベストパフォーマンスができない

到達目標 E	アンサンブル発表会でベストパフォーマンスができ、次の目標が設定できる		アンサンブル発表会でベストパフォーマンスができる		アンサンブル発表会でベストパフォーマンスができない
-----------	------------------------------------	--	--------------------------	--	---------------------------

【教科書】

【参考資料】
 毎回授業にて資料配布を行う
 参考書・参考資料等は授業中に指示をする

【成績の評価方法・評価基準】
 試験・課題 70% 課題毎に提出。検定試験の受験・点数により評価
 成果発表 20% 授業内に行われるロールプレイング・グループワークにより評価
 平常点 10% 積極的な姿勢

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名		アドバンスレッスン1			年度	2025
英語表記		Advanced lesson 1			学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標=修得するスキル	評価方法	自己評価
1	レベルチェック	レベルチェックパフォーマンス	1 自由曲演奏	自由曲を演奏し、ベストパフォーマンスできる		
			2 批評	他の学生の演奏を聴いて批評できる		
			3 講師からの講評	講師から指摘されたことを改善できる		
2	専攻実技①	基礎演奏力の向上	1 アーティキュレーション	様々な演奏技法を使って表現ができる		
			2 アクセント	リズムを乱さずアクセント移動ができる		
			3 連符	様々な連符のフレーズを叩くことができる		
3	専攻実技②	様々なバリエーションのビートを習得する	1 パラディドル	パラディドルのパリエーションを叩ける		
			2 4way	両手両足をバランスよく動かすことができる		
			3 サンバキック	サンバキックを使ったビートを叩ける		
4	専攻実技③	ジャンル毎のバリエーションを習得する	1 バリエーション1	サンバ、ボサノバのビートを叩ける		
			2 バリエーション2	アフロキューバンのビートを叩ける		
			3 バリエーション3	スイングのビートを叩ける		
5	イヤートレーニング①	4和音を聞き取れる	1 メジャー系	メジャー系の4和音を聞き分けられる		
			2 マイナー系	マイナー系の4和音を聞き分けられる		
			3 ライティング	音を聞き五線譜にライティングできる		
6	イヤートレーニング②	II-V-Iを聞き取れる	1 メジャー系	メジャー系のII-V-Iを聞き分けられる		
			2 マイナー系	マイナー系のII-V-Iを聞き分けられる		
			3 ライティング	音を聞き五線譜にライティングできる		
7	イヤートレーニング③	テンションを聞き取れる	1 ナチュラルテンション	9th, 11th, 13thを聞き分けられる		
			2 オルタードテンション	b 9th, #9th, #11th, b 13thを聞き分けられる		
			3 ライティング	音を聞き五線譜にライティングできる		
8	リーディング(応田)①	譜面から情報を読み取る	1 反復記号	反復記号について理解できる		
			2 略記号	略記号について理解できる		

			3	アーティキュレーション	アーティキュレーションについて理解できる		
9	リーディング(応用)②	譜面を作成する	1	進行の下書き	進行の下書きができる		
			2	耳コピによる採譜	耳コピによる採譜ができる		
			3	添削とアドバイス	より分かり易い譜面を作成できる		
10	リーディング(応用)③	読譜力を上げる	1	情報の速読	調や進行など情報の速読ができる		
			2	音符の速読	音符の速読ができる		
			3	初見演奏	初見演奏ができる		
11	ボーカルアンサンブル①	課題曲に取り組む	1	課題曲	課題曲を聴き、イメージができる		
			2	スコアリーディング	スコアリーディングで進行を理解できる		
			3	基本パターン	課題曲の基本パターンを習得できる		
12	ボーカルアンサンブル②	バンドセッションに取り組む	1	デモ演奏	講師のデモ演奏を聴き、演奏のイメージができる		
			2	バンドセッション	バンドのみの時の演奏を意識できる		
			3	講師指導	講師から指摘されたことを改善できる		
13	ボーカルアンサンブル③	ボーカルinセッションに取り組む	1	デモ演奏	講師のデモ演奏を聴き、演奏のイメージができる		
			2	ボーカルセッション	ボーカルが入った時の演奏を意識できる		
			3	講師指導	講師から指摘されたことを改善できる		
14	インプロ発表会	ステージパフォーマンス	1	リハーサル	スムーズにリハーサルを進行できる		
			2	本番	本番でベストのパフォーマンスができる		
			3	講師からの講評	本番を振り返り、自分の課題を発見できる		
15	アンサンブル発表会	ステージパフォーマンス	1	リハーサル	スムーズにリハーサルを進行できる		
			2	本番	本番でベストのパフォーマンスができる		
			3	講師からの講評	本番を振り返り、自分の課題を発見できる		
評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他							
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった							
備考 等							

科目名	アドバンスレッスン1							年度	2025
英語科目名	Advanced lesson 1							学期	前期
学科・学年	ミュージックアーティスト科プレイヤー コース(キーボード) 2年次	必/選	必	時間数	240	単位数	8	種別※	実習
担当教員	金沢 法皇/田中 綾美/二本柳 一明/Ryuta/鈴木 一義/渡辺 具義		教員の実務経験	有	実務経験の職種	ミュージシャン			
【科目の目的】									
演奏テクニック、スコアリーディング、アンサンブル能力を向上させるための実践的なアプローチの習得を目的とします。アンサンブルの授業ではジャンルの違う課題曲ごとにアプローチ方法を学び、バンドセッションではメンバーを交代しながら、常にバンド全体の音を意識して演奏することで、周りとの適切な音量のバランスやその曲に合った音色、バックギン等を学びます。インプロビゼーションでは、それぞれが自由なアドリブを演奏できるためのスキルを習得します。									
【科目の概要】									
この授業は、各楽器の実践的なスキルを総合的に習得するための授業です。一週間の時間割はテーマごとに細分化されており、「専攻実技」「イヤートレーニング」「リーディング」「ボーカルアンサンブル」「インプロビゼーション」「インプロビゼーションアンサンブル」「マスターインストラクター」「DTM」の8つに分かれます。下記に記載されている授業テーマは、前期後期に共通する内容であり、別紙「アドバンスレッスン2」も同様である。また、学生一人一人の演奏レベルや個性は十人十色であるため、それぞれに適したペースで指導を行うことに重点を置いている。									
【到達目標】									
A. 楽器の応用スキルを習得できる B. イヤートレーニング(4和音、テンション)を習得できる C. リーディング(応用)を習得できる D. インプロ発表会でベストパフォーマンスができる E. アンサンブル発表会でベストパフォーマンスができる									
【授業の注意点】									
専門学校は出席率100%が基本であるため、理由のない遅刻や欠席は認めない。 教員の指示がない限り、授業と関係のない携帯電話・スマートフォンの使用を認めない。 授業時限数の4分の3以上出席しない者は定期試験・評価課題を受験することができない。 課題曲に対する下準備。楽器、譜面は忘れずに必ず持ってくること。									
評価基準＝ループリック									
ループリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	楽器の応用スキルを習得でき、ミスのない演奏ができる		楽器の応用スキルを習得できる			楽器の応用スキルを習得できない			
到達目標 B	イヤートレーニング(4和音、テンション)を習得でき、ミスなく採譜できる		イヤートレーニング(4和音、テンション)を習得できる			イヤートレーニング(4和音、テンション)を習得できない			
到達目標 C	リーディング(応用)を習得でき、ミスなく進行できる		リーディング(応用)を習得できる			リーディング(応用)を習得できない			
到達目標 D	インプロ発表会でベストパフォーマンスができ、次の目標が設定できる		インプロ発表会でベストパフォーマンスができる			インプロ発表会でベストパフォーマンスができない			

到達目標 E	アンサンブル発表会でベストパフォーマンスができ、次の目標が設定できる		アンサンブル発表会でベストパフォーマンスができる		アンサンブル発表会でベストパフォーマンスができない
-----------	------------------------------------	--	--------------------------	--	---------------------------

【教科書】

【参考資料】
 毎回授業にて資料配布を行う
 参考書・参考資料等は授業中に指示をする

【成績の評価方法・評価基準】
 試験・課題 70% 課題毎に提出。検定試験の受験・点数により評価
 成果発表 20% 授業内に行われるロールプレイング・グループワークにより評価
 平常点 10% 積極的な姿勢

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名		アドバンスレッスン1			年度	2025
英語表記		Advanced lesson 1			学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標=修得するスキル	評価方法	自己評価
1	レベルチェック	レベルチェックパフォーマンス	1 自由曲演奏	自由曲を演奏し、ベストパフォーマンスできる		
			2 批評	他の学生の演奏を聴いて批評できる		
			3 講師からの講評	講師から指摘されたことを改善できる		
2	専攻実技①	応用トレーニング	1 タッチ	鍵盤タッチの差による繊細な変化を理解できる		
			2 ボイシング	ボイシングによる聞こえ方の違いを理解できる		
			3 音色とフレージング	選択した音色に応じたフレージングができる		
3	専攻実技②	課題曲のトレースとクオリティ向上	1 課題曲	課題曲を聴き、イメージができる		
			2 フレーズのコピー	フレーズを聴き取ることができる		
			3 実践トレーニング	実際に演奏ができる		
4	専攻実技③	課題曲におけるオリジナル表現	1 課題曲	課題曲を聴き、イメージができる		
			2 フレーズの考案	自身のスタイルに応じたフレージングができる		
			3 実践トレーニング	実際に演奏ができる		
5	イヤートレーニング①	4和音を聞き取れる	1 メジャー系	メジャー系の4和音を聞き分けられる		
			2 マイナー系	マイナー系の4和音を聞き分けられる		
			3 ライティング	音を聞き五線譜にライティングできる		
6	イヤートレーニング②	II-V-Iを聞き取れる	1 メジャー系	メジャー系のII-V-Iを聞き分けられる		
			2 マイナー系	マイナー系のII-V-Iを聞き分けられる		
			3 ライティング	音を聞き五線譜にライティングできる		
7	イヤートレーニング③	テンションを聞き取れる	1 ナチュラルテンション	9th, 11th, 13thを聞き分けられる		
			2 オルタードテンション	b 9th, #9th, #11th, b 13thを聞き分けられる		
			3 ライティング	音を聞き五線譜にライティングできる		
8	リーディング (本田)①	譜面から情報を読み取れる	1 反復記号	反復記号について理解できる		
			2 略記号	略記号について理解できる		

			3	アーティキュレーション	アーティキュレーションについて理解できる		
9	リーディング (応用)②	譜面を作成する	1	進行の下書き	進行の下書きができる		
			2	耳コピによる採譜	耳コピによる採譜ができる		
			3	添削とアドバイス	より分かり易い譜面を作成できる		
10	リーディング (応用)③	読譜力を上げる	1	情報の速読	調や進行など情報の速読ができる		
			2	音符の速読	音符の速読ができる		
			3	初見演奏	初見演奏ができる		
11	ボーカルアンサンブル①	課題曲に取り組む	1	課題曲	課題曲を聴き、イメージができる		
			2	スコアリーディング	スコアリーディングで進行を理解できる		
			3	基本パターン	課題曲の基本パターンを習得できる		
12	ボーカルアンサンブル②	バンドセッションに取り組む	1	デモ演奏	講師のデモ演奏を聴き、演奏のイメージができる		
			2	バンドセッション	バンドのみの時の演奏を意識できる		
			3	講師指導	講師から指摘されたことを改善できる		
13	ボーカルアンサンブル③	ボーカルinセッションに取り組む	1	デモ演奏	講師のデモ演奏を聴き、演奏のイメージができる		
			2	ボーカルセッション	ボーカルが入った時の演奏を意識できる		
			3	講師指導	講師から指摘されたことを改善できる		
14	インプロ発表会	ステージパフォーマンス	1	リハーサル	スムーズにリハーサルを進行できる		
			2	本番	本番でベストのパフォーマンスができる		
			3	講師からの講評	本番を振り返り、自分の課題を発見できる		
15	アンサンブル発表会	ステージパフォーマンス	1	リハーサル	スムーズにリハーサルを進行できる		
			2	本番	本番でベストのパフォーマンスができる		
			3	講師からの講評	本番を振り返り、自分の課題を発見できる		
評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他							
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった							
備考 等							